

2024年度 各自治体 **非核 平和** 施策紹介

毎年各自治体で実施される非核平和施策を紹介します。これは市町村の関係部門へのアンケートを基に当会が集約した今年度の抜粋です。関係者の皆さんのご協力に感謝します。(2024年6月集約)尚、アンケートの全項目はホームページに掲載、紹介します。

自治体	今年度の非核平和施策 ①財政難やコロナ禍の下、貴自治体における非核・平和施策を実施される上での問題点や工夫点②児童、生徒、住民及び職員への啓発活動や施策内容(平和学習や広島長崎等への研修旅行についてのサポート等)③常設の施設(非核・平和資料館や非核宣言都市モニュメント等)について、また、運営・維持管理等の方法④住民や団体が実施するピースフェスタ、国民平和行進等、草の根運動への後援・施策や対応⑤今年度の予算額(非核平和施策関連)⑥平和首長会議には、大阪は全市町村がされていますが、日本非核宣言自治体協議会への加盟状況⑦貴自治体における首長や自治体としての非核・平和問題、核兵器禁止条約についての取り組み状況⑧政府に対して核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書が全国の地方議会で採択されています。貴自治体の議会での意見書採択等、今後の取り組み予定。	原爆による被害者関係 ①被爆者団体名 ②被爆者援護施策
大阪府	①大阪府では、平和施策を推進するため、大阪国際平和センター（ピースおおさか）への支援を行っている。②大阪国際平和センター（ピースおおさか）において、戦争・平和に関する展示、映画上映、紙芝居、資料貸出等を通して実施（小中学生は入館無料、子どもも向け映画上映等）③大阪国際平和センター（ピースおおさか）大阪市中央区大阪城2-1 http://www.peace-osaka.or.jp/ ※大阪府・市が共同出資している公益財團法人大阪国際平和センターが運営④後援名義の使用申請に対し、基準を満たすものであれば承認している。平和団体等の式典に際し、知事メッセージの送付⑤公益財團法人大阪国際平和センターへの補助金61,084千円（補修・改修工事費15,382千円含む）⑥加盟していない⑦平和施策を推進するため、ピースおおさかへの支援、平和団体等への知事メッセージの送付を行っている。⑧把握していない	①一般社団法人大阪府原爆被害者支援協会②被爆者に対しては「原子爆弾被害者に対する援護に関する法律」に基づく施策の実施。・被爆二世に対しては国「の被爆二世健康診断調査事業」に基づく健診の実施(年1回)
大阪市	①所管する大阪国際平和センター（ピースおおさか）では、新型コロナウイルスの流行期には、平和関連事業の一部が中止又は縮小されたり、主要な入館者である小中学生の平和学習の機会が大幅に減少するなど、その影響が甚大でしたが、必要な感染防止対策を徹底し、学校等の団体見学の人数制限や講堂内の座席数の適正化を図るなどしてその運営を行ってきました。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に移行したことにより、様々な行動制限が撤廃又は緩和され、人流が活発化したことから、当館の来館者は絶えず小中学校の来館者が大きく伸び、コロナ前と同水準まで回復しています。また、各種の事業を行うにあたっては、様々なツールを活用して平和に関する情報発信をし、来館者のためのPRを行うことで、その利用促進を図っています。②小中学生等の平和学習の機会確保のため、大阪国際平和センター（ピースおおさか）への入館案内や平和学習資料の貸出等についてPRを行うとともに、コロナ禍において、広島、長崎に行けなかった学校が平和の願いを込めた折鶴の寄贈の多くの同センターで受け入れなどの対応を行ってきました。③大阪国際平和センター（ピースおおさか）大阪市中央区大阪城2-1 公益財團法人大阪国際平和センター（大阪府と大阪市で出資）が運営・維持管理を行っています。④市長メッセージの送付。（令和5年度送付実績）ピースリレー2023（主催：生活協同組合おおさかパルコープ）、原水爆禁止2023年世界大会（主催：原水爆禁止世界大会実行委員会）、2023年原水爆禁止国民平和大行進（主催：原水爆禁止国民平和大行進中央実行委員会）⑤令和6年度当初予算66,182千円※大阪国際平和センター（ピースおおさか）の運営補助（施設修繕費補助金20,119千円を含む）⑥加盟していない。⑦国際社会の平和と発展に寄与し、平和に関する本市施策に寄与するものへの後援名義の使用承認や市長メッセージの送付などをを行っています。⑧大阪市会では現時点で可決された意見書はありません。	①所管する部署ありません ②被爆者に対しては、「原子爆弾被害者に対する援護に関する法律」に基づく施策の実施 被爆二世に対しては、国「の被爆二世健康診断調査事業」に基づく検診の実施(年1回)
能勢町	①該当なし②該当なし③該当なし④町の後援名義に関する基準に基づき対応⑤1,115千円⑥加盟していない⑦人権と平和のつどいなどのイベントを開催⑧特になし	①②把握していない
豊能町	①特になし②特になし（修学旅行等（教育委員会所管）においては実施）③特になし④特になし⑤2,000円（負担金）⑥非加盟⑦懸垂幕掲示（8月）⑧現時点で予定なし	①②特になし
箕面市	①イベント時、換気、手指の消毒をするなどした。②平和関連のパネル展を開催予定（ヒューマンズプラザ）、戦時生活資料展を開催予定（郷土資料館）、以上、展示は日時未定③平和モニュメント「青い地球」隨時、洗浄・補修を行っている。④ピースフェスタ等は後援名義申請があった場合、使用基準を満たすものであれば承認。平和行進等については、可能な範囲で受け入れ対応している。⑤34千円（平和施策・人権・国際理解などと一体化した事業として）⑥非加盟⑦箕面市非核平和都市宣言（1985年3月28日議決）⑧特になし	① ②大阪府が年2回実施する健康診断を受診する市内在住の被爆者への奨励金を支給
池田市	①感染症予防のため、平和行進を中止する団体もあるが、実施する団体への対応に関しては感染症対策に十分気を付けた上で対応（マスク、手指消毒等）②各小、中学校とも4～11月に非核・平和に関する学習を実施（平和登校日、平和のつどい等）。修学旅行について、小学校は広島、中学校は長崎、沖縄を訪れ平和学習を実施。③特になし④特になし⑤527,000円⑥未加入⑦特になし⑧特になし	①池田市原爆被害者の会 ②なし
茨木市	①非核平和街頭啓発を見直し、路線バス車内等に非核平和ポスターを掲出する。②人権と平和を願う「非核平和展」を文化子育て複合施設おにくるにおいて実施。令和6年8月6日（火）～8月11日（日）。市役所本庁において、原爆死没者を慰靈し、あわせて世界恒久平和を祈念するための黙とうの実施を市民に呼びかける庁内放送を実施。令和6年8月6日（火）及び8月9日（金）③市立文化財資料館の常設展示の一部に戦時中の資料展示あり④平和行進への協力⑤1,458,000円⑥加盟済み⑦人権と平和を願う「非核平和展」を文化子育て複合施設おにくるにおいて実施。令和6年8月6日（火）～8月11日（日）。市役所本庁において、原爆死没者を慰靈し、あわせて世界恒久平和を祈念するための黙とうの実施を市民に呼びかける庁内放送を実施。令和6年8月6日（火）及び8月9日（金）⑧なし	①茨木市原爆被害者の会 ②なし
高槻市	①市民、特に次世代の担う子どもたちに平和への意識を醸成するため、市で加盟する非核宣言自治体協議会及び平和首長会議の事業を活用し、被爆樹木二世等の苗木の植樹を市内の小中学校に積極的に呼びかけた。②修学旅行において、小学校では広島等、中学校では長崎等を訪問し、平和学習を実施する予定である。そのほか、社会科など各教科等において平和学習を行っている。③市民が身近に平和への关心を高めることができるよう、戦後50周年事業の一つとして「平和モニュメント～未来のゆりかご～」を平成8年3月に高槻城跡公園に設置した。同公園内には昭和62年に当時の高槻市長からの要請で広島市長より贈られた被爆樹木の胸石も「被爆の石」として設置している。これらは維持管理については、市で定期的に清掃業者による清掃をしている。・クロスマル高槻4F男女共同参画センター内に人権・文化啓発コーナーを設置し、非核・平和に関するビデオ、DVD等の貸出を行っている。また、市民から寄贈していただいた戦争遺品の展示も行っている。④国民平和と行進等に対し市長からのメッセージ代読及び激励、見送りを行っている。⑤平和展事業1,055千円 日本非核宣言自治体協議会分担金6千円、その他平和モニュメント等の清掃等 8千円 合計1,195千円⑥日本非核宣言自治体協議会：昭和61年4月に加盟（現在、近畿プロック幹事）⑦平和展の実施や、日本非核宣言自治体協議会及び平和首長会議と連携して、市ホームページ、広報誌などにおいて情報を発信することにより、「原爆の恐ろしさ」や「平和の尊さ」などを市民に伝え、平和意識の高揚を図っている。⑧未定	①高槻市原爆被害者の会 ②原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づく施策の実施（各種申請の大阪府への経由、大阪府が実施する健康診断の案内等）
島本町	①町ホームページに、平和に関するページを新たに作成し啓発を図った。②ホームページに加え、広報5月号に「親子記者事業への参加者募集」記事を掲載。③当センター及びふれあいセンター平和塔前に「嘉代子桜」を植樹し、平和啓発に役立てている。④例年平和市民マラソン等の開会集会には町長が出席し、激励メッセージを送るよう努めている。⑤20千円。例年8月に補助金交付団体の予算にて平和関連事業を実施している。⑥加盟している。⑦核実験等が実施された際は、速やかに抗議文を送付している⑧特記事項なし。	①島本エーポン被害者の会 ②福祉金の支給 (月額2,500円/人)
吹田市	①吹田市立平和祈念資料館（以下、「平和祈念資料館」という。）においては、今後も主催事業の充実を図るとともに、実物資料の貸し出しを通して、地域や団体における平和の取組を支援するなど、事業の内容や手法を工夫する必要がある。②、平和祈念資料館の管理運営、市民から提供された戦時中の生活用品や軍隊に関する現物資料等の常設展示及び平和に関する資料の収集と貸し出し、平和映画会の開催、その他平和に関するイベント③平和祈念資料館（直営）、非核平和都市宣言、非核平和都市宣言啓発柱④6～7月に行われる平和行進について、市役所周辺にて市職員があさつ。⑤35,310,000円（施設管理経費を含む）⑥加盟している。⑦昭和58年（1983年）8月に行った「非核平和都市宣言」の理念のもと、さまざまな啓発活動に取り組み、「非核・平和のまちづくり」を進めてきた。本市が加盟する「日本非核宣言自治体協議会」や「平和首長会議」を通じて必要な働きかけを行っていきたい。⑧現時点では予定なし。	①吹田市原爆被害者の会(吹閃会 すいせんかい)、吹田市原爆被害者の会(吹閃会 すいせんかい)二世の会②被爆者二世への医療費助成、原爆被爆者に対する援護に関する法律に基づく種々申請の大阪府への経由や被爆者健康診断の実施(大阪府からの委託による)
摂津市	①感染予防策を講じた上で平和月間イベントを実施予定。「平和を考える市民のつどい（上映・講演会）」にてオンライン申込の受付を実施予定。② 平和パネル展、市内図書館における平和映画会等、・平和黙祷の実施、・長崎平和記念式典もしくは広島平和式典への市民派遣。今年度は広島平和記念式典へ派遣予定。・広島の高校生が描いた原爆の絵展（パネル展）③平和公園（広島市から譲り受けた被爆石のモニュメントを配置）④平和行進の受入等の支援。平和行進団体への激励、メッセージの送付⑤679千円（平和施策推進事業）⑥加盟していない⑦7月～8月を平和月間と定め、②で回答した事業を実施。及び、市役所・市内公共施設・平和パネル展等において「核兵器禁止条約」の早期締結を求める署名用紙を配り、署名を呼び掛ける。⑧市議会平成30年第1回定例会で「核兵器禁止条約」の日本政府の署名と批准を求める意見書が、令和元年第2回定例会で「日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書」が採択された。	①摂津市原爆被害者福祉協議会(1世、2世が構成員)②1世：市立温水プール利用料免除、府営住宅申込資格、国民健康保険料減免、戸籍事項に関わる無料証明、市民税減免。2世：原爆被爆者二世に対する医療費助成、原爆被爆者二世に対する一般健康診査
東大阪市	①集会型事業については、定員の減数、常時換気、アルコール消毒の徹底等、感染症拡大防止に努めた②平和事業（資料展、映画の上映会、講演会等）を実施、平和冊子の配布③平和の女神像、平和都市宣言記念碑：清掃等を職員が随時行っている。平和の灯：年1回の保守点検と必要な時に修繕を業者に依頼している④各団体の平和行進に協賛、市長・議長メッセージ等を行っている⑤1,693千円⑥加盟済み⑦非核・平和都市宣言」を掲げ、平和の重要性とこれを脅かす核兵器の廃絶を訴えている⑧採択、取り組み予定等、特になし	①被爆者団体が解散したため、問合せ等には個別対応②被爆者健康診断、被爆二世健康診断